



# 情報 FUKUOKA 第93号

# トライ



**JRTU** 発行者  
九州旅客鉄道労働組合  
福岡地方本部  
発行責任者 岩永 康志  
編集責任者 宮路 享  
北九州市小倉北区室町3-137-1  
NTT (093) 583-3385  
JR (091) 4307~4308

## JR九州労組中央本部 2013年度役員名簿

役職	氏名	年齢	所属地本	所属分会	専/非
執行委員長	許斐 元文	54	福岡	営業	専
執行副委員長	上野 真	57	鹿児島	宮崎乗務	専
執行副委員長	芦原 秀己	50	大分	大分駅連合	専
書記長	中原 博徳	51	熊本	熊本工務センター	専
執行委員	木村 智隆	48	福岡	本場	専
執行委員	北村 公次	38	長崎	長崎支社	専
執行委員	大久保 浩	38	福岡	運行管理	非
執行委員	住吉 一家	33	福岡	施設電気	非
執行委員	原川 朋大	32	福岡	運輸	非
執行委員	本多 洋一	33	熊本	熊本駅連合	非
執行委員	鎗光 俊勝	30	福岡	運行管理	非
執行委員	中村 芽	30	福岡	営業	非
会計監査員	白石 勝之	55	福岡	鳥栖連合	非
会計監査員	高木 宏	50	福岡	運輸	非
会計監査員	北村 幸一	35	福岡	総経	非

※太字は福岡地本選出。専は専従、非は非専従

大会には、執行部、代議員、特別代議員、傍聴者、来賓など合わせて250名が出席、議長団に岩口代議員(長崎)と濱田代議員(熊本)を選出、議事が進められました。

執行部を代表して徳田委員長は「20年前の1993年に新生JR九州労組を結成し、職場の融和と団結を強め、働きがいのあるJRを創造するため、真に民主的な労働組合と健全な労使関係を目指し、今日まで運動を展開してきた。また、JR三島貨物会社の税制特例措置をはじめとする経営支援策問題など、政治的政策課題の解決を図り、JR九州を代表する責任組合として、確固たる地位を築きながら、20年の大きな節目を迎えることができた」とこれまでの20年の運動の成果を振り返るとともに、安全問題や組織問題など5点にわたり所信を述べました。

質疑では、27名の代議員から、効率化施策問題や高齢者の労働条件改善、これからのJR九州労組の運動を担っていく役員・活動家の育成など、多くの意見が出され、執行部の答弁、許斐書記長の集約答弁を経て、すべての議案が満場一致で採択されました。

役員改選では、長きにわたるJR九州労組の運動を牽引してこられた徳田委員長と福田副委員長など、8名の役員が退任、許斐元文書記長を新委員長とする新執行部を選出しました。その後、安全確立や組織強化・拡大、政治的政策課題実現にむけた取り組みなどをはじめとする大会宣言を採択、新たな時代を切り拓く「飛躍・信頼・創造」の新しいスローガンの下、積極果敢に挑戦し続けることを誓いあい、結成20周年に相応しい大会となりました。

なお、本定期大会の詳しい内容等につきましては、本報の「JR九州労組新聞」に掲載されますので、そちらをご参照ください。

JR九州労組は7月10、11日の2日間、長崎県佐世保市で第22回定期大会を開き、安全の確立にむけた取り組みや、組織強化・拡大、将来のJR九州を見据えた中長期的な政策課題の実現をはじめとする2013年度の運動方針を決定しました。役員改選では、長きにわたり、JR九州労組の運動を牽引してきた徳田委員長(鹿児島)と福田副委員長(福岡)など8人が退任。許斐元文委員長(福岡)をはじめとする新執行部を選出し、「飛躍・信頼・創造」の新スローガンの下、新たな時代を切り拓くため、積極果敢に挑戦し続けることを確認しました。

## 新委員長に許斐氏(福岡)

### 新たな時代の挑戦へ

#### JR九州労組 第22回定期大会

## JR九州労組 機関紙コンクール 福岡地本「トライ」V2達成!



福岡地方本部が発行している機関紙「トライ」がJR九州労組の機関紙コンクールにおいて、2年連続となる最優秀賞を受賞、7月10日、11日に行われた、JR九州労組第22回定期大会の中で表彰されました。

機関紙コンクールは機関紙作成意欲の高揚と、成果発表の場として毎年開催されているもので、今年も各地方本部、分会から6作品9点の応募がありました。

福岡地本では、本部の方針に基づき、地本機関紙の月1回の定例発行を行い、組合員のみならず親しまれる紙面づくりを目標とします。

福岡地本では、今回の受賞を機に、さらに見やすく、親しまれる紙面づくりを目指して取り組んでいきます。

紙面に対するご意見・ご要望などございましたら、福岡地本 教育・宣伝部までお知らせください。

## 支部結成は9月21日に 北・南地協、8年の歴史に幕

福岡地方本部は、7月17日の第12回執行委員会のなかで、第20回定期大会以降、検討してきた組織機構の見直しについて、9月21日(土)に博多、北九州、小倉工場、筑豊、本社、佐賀の6支部を同時に結成することを確認しました。これは、次代を担う役員を育成していくうえで、分会が主体となった活動を行い、人材育成と組織の活性化を目的に行うもので、これまで地本→地協→分会の組織体制であったものを地本→支部(分会主体)→分会とし、分会が主人公と言える組織体制を築いていくものです。これにより、2005年に結成された北地域協議会、南地域協議会は廃止され、8年の歴史に幕を下ろすことになりました。

地域協議会の解散と、新たな支部結成レセプションは下記の日程で行います。支部結成後も、組織が一丸となって課題の解決にむけて取り組んでいきましょう。

○日時: 2013年9月21日(土)16:00より  
○場所: ステーションホテル小倉

**ノーサイド** 第23回参議院議員通常選挙は21日投票開票され、民主党は国民から厳しい審判を受け、改選議席を大きく下回る17議席にとどまり、結党以来最低の議席数となった。投票率も過去最低だった1995年の参院選は上回ったものの、戦後4番目に低い54%となるなど、有権者の足は投票所にむけられることはなかった。

しかし、ねじれが解消したとはいえ、有権者は改選勢力とされる自民、みんな、日本維新の各党に、非改選を合わせて3分の2の議席を与えなかった。自民党が目指す憲法9条改正による国防軍創設や、集団的自衛権の行使容認など、機が熟しているとは言えないだろう。ここは、政権が暴走しそうになった場合は、当面、連立を組む公明党に歯止めを期待するしかない。

▼大敗北を喫した民主党。もう一度、生活者、納税者、消費者の立場に立つという結党の原点に立ち返り、党の再生に全力を尽くさなければならぬ。時間がかかるだろうが、やりぬく責任が今の民主党に求められる。

## 福岡地方本部 第22回定期大会

★日時 2013年8月3日(土) 10:30開会  
★場所 「福岡朝日ビル」(最寄駅:博多駅)  
★議題 ・一般活動経過報告  
・2012年度決算報告  
・2013年度運動方針(案)ほか

